といはれる。

大公報の報ずる所によれば同方面戰區司令余漢謀は日本軍が南寧より龍州方面に兵を急派しつつあるが之は龍州の日本軍救援の爲南寧を放棄する用意のある證據であると發表したといはる。

外國宣傳情報第二號

内閣情報部九・七

—重慶ロイテル新聞電報放送（四日）—（臺灣總督府交通局遞信部聽取）

一、支那軍政部長並に參謀總長たる何應欽は最近空路昆明に到り龍主席と佛印問題對策に就き協議を行つた。

二、支那の各紙は何れも日本の南進策に對して支那が關心を有するのは單に戰略的理由からだけで無く支那が過去何世紀もの間自力で經濟王國を築いて來た南洋とは重要な利害關係を有するからであり若し日本が南洋に特殊權益を以て求むる時支那は實力手段に出るであらう即ち佛印が日本の脅威を受ける場合支那は同地在留支那人の生命財產保護のため武力行使を躊躇しないであらうし其の他の南洋諸國の場合に於ても支那は關係各國と協力し日本の野望を粉碎する用意があると述べて居り又支那各紙は何れも米國の英國海空軍根據地租借協定を歡迎して居り英米兩國の提携は相互の利害問題に必須たるのみならず太平洋の米國にとつても最も重要なものであると述べてゐる。

137

外國宣傳情報第三號　　內閣情報部九・七

一成都中央通信社新聞電報放送（四日）―（臺灣總督府交通局遞信部聽取）

一、香港發

最近日本より當地に達した外國人宣教師は左の如く報じてゐる。

自分は日本に十六年間住んでゐるが日本國內には反戰機運が日を逐ふて濃くなり最近神戶其他の各地を旅行しても軍需工場を除く以外の工場は殆んど物價高騰のため閉鎖を餘儀なくされてゐる。而して日本全國は非常な不安に包まれ戰が長引くにつれて政府は國民の信望を失ひつゝある。

二、重慶報

シンガポール發蘭貢經由昆明に歸着したヘンホワード主筆ロイホワード氏は短い會見に於て、蘭印の外敵侵略に對する反抗の決意を物語つた。

今次の蘭印旅行中私は蘭印が防禦の爲大きな仕事をしてゐるといふ印象を與へられた。住民の間には大きな恐怖の色が見られ、海軍殊に空軍の準備が急がれてゐる。又私はアメリカの物資が蘭印に多量に入つてゐるのに驚いたと述べた。又極東に對するアメリカの態度に言及した際、支那に對する住民の同情は壓倒的であると言明した